

第6学年O組 外国語活動学習指導案

平成27年6月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇 印

1 単元 できることを紹介しよう (Lesson 3 I can swim.)

2 単元の見どころ

- (1) 積極的に友達に「できること」を尋ねたり、自分の「できること」や「できないこと」を答えたりしようとする。
- (2) 「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ。
- (3) 言語や人、それぞれに違いがあることを知る。

3 学習の計画 (4時間完了)

- 第1時 動作を表す語や「できる」「できない」という表現を知り、言語にはそれぞれに違いがあることに気付く。
- 第2時 動作を表す語や「できる」「できない」という表現に慣れ親しみ、できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現を知る。
- 第3時 (本時) できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 第4時 自分ができることを考え、友達と積極的に交流しようとする。

4 本時の学習指導

- (1) 目標
 - できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとする。
- (2) 準備・資料
 - 教師……CD, ピクチャーカード, ワークシート
- (3) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
復 習 ・ つ か む	1 復習をする。 (1) あいさつをする。 ・ Good morning. ・ How are you? ・ I'm fine. / I'm sleepy. / I'm hungry. (2) Let's Chant (P12) をする。 2 学習課題をつかむ。 どのようなことができるのかを友達に尋ねたり、答えたりしよう。	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 元気よくあいさつをして、授業の意欲を高めるようにする。 ○ 全体にあいさつをした後で、個別に数名の児童にあいさつをする。 ○ ピクチャーカードを見せ、一緒に言う。 ○ 質問部分と答えの部分で言う人を分ける。 ○ ピクチャーカードを見せながら、教師の後について繰り返させる。 ○ 児童の様子を見ながら、難しそうな単語は何度か繰り返させる。 ○ 単語を入れ替えて、練習させる。
	3 前時までの英語表現を振り返る。 (1) 語句の練習をする。 ・ play baseball ・ play soccer ・ play basketball ・ play table tennis ・ play kendama ・ play badminton ・ play the recorder ・ play the piano ・ cook ・ swim (2) 文の練習をする。 Q : Can you play baseball? A : Yes, I can. / No, I can't.		
	4 Activity 1 (P10) をする。 (1) 予想をする。		<ul style="list-style-type: none"> ○ Activity 1 (P10) に予想を記入させる。 ○ 児童ができることは、実際と違ってても良

追 究 す る	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアになり, 11 種類の動作について, 相手ができるかどうかを予想して欄に○や△を書く。 ○空欄には相手に尋ねてみたいことの絵を描き, 予想を書く。 <p>(2) インタビューをして, 結果を○や△で書き入れる。</p> <p>Q : Can you play baseball? A : Yes, I can. / No, I can't.</p> <p>Q : Can you play badminton? A : Yes, I can. / No, I can't.</p> <p>Q : Can you play <i>kendama</i>? A : Yes, I can. / No, I can't.</p> <p>Q : Can you play table tennis? A : Yes, I can. / No, I can't.</p>	30	<p>いこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Activity 1 (P10) を使ってペアでインタビューをする。 ○ 会話が弾まない児童には, 教師の後に繰り返させて友達と会話をさせる。 <p>評できることを進んで尋ねたり, 答えたりしている。 (会話)</p>
深 め る	<p>5 Who am I?クイズをする。</p> <p>(1) 教師の紹介を聞いて, 学級の誰のことかを当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • I can play baseball. I can't swim. <p>Who am I?</p> <p>(2) 教師に Can you ~? で尋ね, その答えから誰のことかを当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Can you play the piano? Yes, I can. • Can you play soccer? No, I can't. <p>Who am I?</p>	40	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートを配付する。 ○ Activity 1 のインタビュー結果を使い, ある児童になりきり, できることやできないことを I can ~. / I can't ~. で紹介し, それがどの児童のことか推測させる。 ○ Activity 1 のインタビュー結果を使い, 児童に Can you ~? で質問させ, インタビュー結果をもとに答え, その答えから学級のどの児童のことか推測させる。 <p>評できるかどうかを尋ねたり, 答えから誰のことかを考えたりしている。 (会話, ワークシート)</p>
ま と め る	<p>6 振り返りをする。</p> <p>(1) 今日の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートの振り返り部分に記入する。 <p>(2) 終わりのあいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • That's all for today. See you. 	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の英語表現をもう一度確認し, 次時の予告をする。 ○ 児童の良かったところを具体的に伝えて次時への意欲を高める。

(4) 本時の評価規準

- 友達に「できること」を進んで尋ねたり, 自分の「できること」や「できないこと」を答えたりしている。 (表現を使った会話, ワークシート)

5 備 考

(1) 学級の実態

- 児童は外国語活動の時間をとても楽しみにしており, チャンツやゲームなどに積極的に取り組む様子が見られる。しかし, つい日本語を使ってしまったり, ゲームに夢中になってしまったりすることで, 英語を使わずに取り組んでしまう児童もいる。

(2) 指導の力点

- 前時に Can you ~? の表現を学習しているので, 児童はスムーズに学習に取り組めると思われる。児童が自然に英語を使って活動できるように, チャンツを通して, 英語特有のリズムに慣れさせる。また, Who am I? のクイズゲームを通して, 英語を楽しんで取り組める雰囲気作りをする。

6 指導と評価